

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 38号

令和7年1月29日(水)発行

校長 関根 崇史

来年度(令和7年度)以降の『金管バンドクラブ』の活動について

クラブ活動は、4～6年生が希望するクラブに所属し、年間10回程度の活動を行います。今年度は、金管バンド、球技(体育館)、球技(校庭)、軽スポーツ、昔遊び、ボードゲーム、パソコン、習字、工作、イラストの10クラブが活動中です。

そんな中で、金管バンドクラブについては、5、6年生のみが所属し、運動会でのマーチングの発表を目標に活動してきました。今年度の運動会においても、金管バンドクラブの演奏(マーチング)は素晴らしいものでした。これを楽しみに運動会を見に来たという保護者の方もいるのではないのでしょうか。しかし、活動に際して以下のような課題も出てきました。

- クラブの活動時間だけでマーチングを仕上げるのは不可能。20分休みや昼休みを使い、かなりの時間を練習に充てなくてはならない。
- マーチングの特性上、演奏ができるようにならないと動く練習に移ることができない。そのため、動きの練習は運動会練習の時期と重なり、時間の確保が難しいだけでなく、子供たちへの負担が大きい。
- 近年の地球温暖化の影響で、運動会練習やマーチング練習が本格化する二学期以降、気温30℃以上になる日が多く、熱中症警戒アラートが発令されることも少なくない。常に暑さ指数に気を配りながら、練習の可否を判断している状況がある。運動会の練習時間確保すら難しい中で、同時進行でマーチングも仕上げていくのは厳しい。

以上のような理由から、今後の方向性について職員会議等で話し合いを行いました。その結果、金管バンドクラブにつきましては、次年度以降、以下のような活動形態に変更させていただきます。

- 『金管バンドクラブ』から『音楽クラブ(仮名称)』等へ名称を変更する。
- 他のクラブと同様に、4年生から所属可能とする。
- 運動会でのマーチングは行わない。
- 児童の希望に応じ、楽器を選んで演奏できるようにしていく。
- 音楽集会にて演奏をしたり、休み時間を利用したミニコンサートを企画したりするなど、運動会以外で発表の機会を確保していく。

運動会でのマーチングを楽しみにしていた保護者や地域の皆様には申し訳ありませんが、体育的行事である運動会につきましては、マーチングの分まで内容を充実させられるようにしていきます。

今回の変更は、消極的なものではなく、子供たちの負担を軽減し、今ある活動を形を変えて充実させていくためのものであるということをご理解ください。

インフルエンザに注意を！

インフルエンザが全国的に増加してきており、本校でも感染拡大を食い止めるため、学級閉鎖で対応するケースが出てきています。

インフルエンザウイルスの感染経路は、飛沫(ひまつ)感染と接触感染の2つがあります。飛沫感染は、感染者のくしゃみや咳(せき)などの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人がそのウイルスを吸い込み感染します。接触感染は、感染者がウイルスのついた手で周りの物に触れ、別の人がその物にさわってウイルスが手に付着し、さらにその手で口や鼻をさわることで感染します。

流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや、周囲にうつさないようにすることが重要です。「手洗い」「うがい」「マスクの着用を含む咳エチケット」などが重要となりますので、ぜひご家庭でもお声かけください。

